



おかげさまで**20**周年



## ご挨拶

### 創立 20 周年を迎えて

おかげさまでJASICは、平成19年10月をもって創立20周年を迎えることができました。

昭和62年10月の創立以来、自動車基準認証国際化研究センター（JASIC）は、自動車の基準・認証制度の国際化に関わる日本政府の活動を支援するために、国連欧州経済委員会自動車基準調和世界フォーラム（UN/ECE/WP29）への参加、アジア地域の基準調和・認証の相互認証の推進、基準調和に関する情報提供などの事業を行ってまいりました。

創立後、最初の10年間はWP29における、「国連の相互認証協定（1985年協定）」および「国連の車両等の世界的技術規則に係わる協定（1998年協定）」への加盟に向け活動し、日本政府の1958年協定、1998年協定への加盟実現に貢献いたしました。次の10年間は、国際基準の制定や改定作業への参画、それら採用による日本の基準・認証制度の国際化につとめ、およそ40項目のUN/ECE規則の国内採用を果たしました。また国際会議の開催や参加を通じ、アジア諸国の自動車基準認証制度の国際化にも広く貢献してまいりました。

そして、これからの10年間に向け、現在の1958年協定での自動車部品や装置に関する相互承認制度を車両全体へと対象を拡大するための検討を事業課題に据え、活動を開始しました。これらの活動を通じ、基準認証の国際化に関するJASICへの期待は、内外ともに高まってきています。

JASICは今後も、国土交通省、自動車関係団体のご協力のもと、より一層の努力を続ける所存でございます。今後ともJASICへのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

自動車基準認証国際化研究センター  
所長 堀込 徳年



# JASICと基準認証の国際化のあゆみ

- 1987(S62) ▶ JASIC創立（10月）  
国連WP29及びGR分科会への出席を開始  
国連WP29およびアジアからの要人招聘事業を開始
- 1988(S63) ▶ ジュネーブ事務所開設（3月）  
ブレーキ、側面衝突、灯火器取付けを3パイロットプロジェクトと位置づけ  
基準調和活動が本格化
- 1989(H1) ▶ 国際基準作成のための試験研究を開始（ブレーキ、側面衝突、灯火器、騒音）  
アジア諸国への専門家派遣を開始、各国の国情に適した基準認証について意見交換  
灯火器基準調和国际会議を開催、日本より灯火器取付けに関する基準を提案。
- 1990(H2) ▶ 日本の自動車安全・環境に関する制度カントリーレポートの発行開始
- 1991(H3) ▶ ブルック発行開始  
JICA自動車行政コースでの講義を開始
- 1992(H4) ▶ 法規フォローサービス開始  
CITA（国際自動車検査委員会）への専門家派遣を開始  
モータリゼーションと環境、エネルギーに関する専門家会議を開催（～1997）
- 1993(H5) ▶ 欧州統一車両型式認証（WVTA）発効
- 1995(H7) ▶ アジアでの現地実情調査開始  
APECコンサルタント業務受託  
国連1958年協定が改訂 欧州以外の国々に門戸が開かれた
- 1997(H9) ▶ 事業拡大に伴ない事務所移転 港区赤坂から千代田区麹町へ  
ODAセミナー受託開始  
ワシントン事務所開設
- 1998(H10) ▶ 日本政府が国連1958年協定に加盟、UN/ECE規則の採用、相互承認を開始  
車両等の型式認定相互承認協定加入記念フォーラムを開催  
第一回アジア官民会議を開催（11月東京）  
EUが1958年協定に加盟  
JASICホームページ開設
- 1999(H11) ▶ 日本政府が1998協定に加盟、米国、カナダ、EUが1998協定に加盟
- 2000(H12) ▶ オーストラリアが1958年協定に加盟、中国、韓国が1998年協定に加盟
- 2001(H13) ▶ 南アフリカが1958年協定に加盟
- 2002(H14) ▶ ニュージーランドが1958年協定に加盟
- 2003(H15) ▶ 第1回アジア専門家会議を開催
- 2004(H16) ▶ 韓国1958年協定に加盟
- 2006(H18) ▶ 事務所移転 千代田区麹町から現所在地（千代田区六番町）へ  
タイ、マレーシア1958協定に加盟、マレーシア、インド1998年協定に加盟
- 2007(H19) ▶ 創立20周年、長期課題として車両認証の相互承認のための基盤整備  
の活動を発表

## 主な出来事

### 1987年（昭和62年） JASIC設立

国が行う自動車の基準・認証制度などの国際化推進活動支援を目的に、官民が協力して行うこれらに関する事業の実施のために、国土交通省、自動車関連団体の協力のもとに設立されました。

### 1987年（昭和62年） 要人招聘事業を開始

国連WP29やアジア各国から要人を招き、自動車の基準認証の国際化に関する意見交換などを行っています。

### 1990年（平成2年） 自動車の基準認証に関する情報提供事業を開始

日本の自動車の安全・環境に関する制度カントリーレポートやブルーブックの発行、法規フォローサービスの運用など、自動車の基準認証に関する情報提供事業を継続して行っています。

### 1991年（平成3年） アジア等の行政官に対する研修を実施

JICAの自動車行政コース（現：自動車の安全・環境に関する基準認証コース）や、国土交通省の自動車基準認証制度国際調和事業であるODAセミナーを通じて、アジア諸国の自動車に関わる行政官に対し、基準認証の国際化に関する講義などを行っています。

### 1995年（平成7年） APEC活動開始

APECの自動車基準調和活動に関するコンサルタント業務の受託、運輸ワーキンググループへの参加などを通じ、APEC参加地域における自動車基準調和活動に貢献しています。

### 1998年（平成10年） 日本の1958年協定加盟

1998年に日本は国連1958年協定に加盟し、自動車の基準認証の国際化及び相互承認の実現に向けた大きな一歩を踏み出しました。JASICは日本の1958年協定の加盟に関する活動や、その後のUN/ECE/WP29活動、日本の基準へのUN/ECE規則の採用にも貢献しています。

#### 日本が採用したUN/ECE規則（2007年10月現在）

1998年	5項目 (R3、R7、R13H、R19、R28)
2000年	6項目 (R6、R23、R27、R38、R62、R95)
2001年	6項目 (R26、R39、R45、R77、R81、R91)
2002年	4項目 (R11、R17、R25、R58)
2003年	3項目 (R30、R54、R75)
2004年	3項目 (R12、R48、R104)
2005年	2項目 (R116、R119)
2006年	3項目 (R14、R44、R80)
2007年	4項目 (R70、R78、R93、R94、R123)

# 1998

## 1998年（平成10年）～ アジア官民会議を開催

アジア各国の官民が集い、自動車基準認証の国際化を議論する場として、1998年に東京で第1回アジア官民会議を開催。その後、アジア各国での開催を続け、2007年には第12回を迎えました。その結果、アジア主要国の1958年協定や1998年協定への加盟が実現しています。



過去の開催地  
(開催年度順)

日本、中国、日本、タイ、マレーシア、  
インドネシア、フィリピン、ベトナム、タイ、  
マレーシア、インドネシア、フィリピン

## 1999年（平成11年）8月 日本の1998年協定加盟

JASICは日本の1998年協定加盟に貢献しました。協定加盟後は、JASICの専門家が国連WP29会議での世界統一基準（gtr）の作成や改定に参加し、現在検討中の水素・燃料電池自動車のgtr作成作業では、JASIC委員が共同議長を務めています。

### 2007年9月現在までに制定されたgtr

- gtr1 Door locks and door retention components
- gtr2 World-wide Motorcycle emission Test Cycle
- gtr3 Motorcycle brake systems
- gtr4 World-wide Heavy-Duty Certification procedure
- gtr5 Heavy-Duty OBD (WWH-OBD)

# 1999

## 2003年（平成15年）～ アジア専門家会議を開催

アジア各国の要請により、国連1958年協定やUN/ECE規則などの専門的なテーマについて議論する「アジア専門家会議」がスタート、2007年10月には、第11回の会議を開催しました。これらの会議にはJASICから専門家を派遣し、講義や技術指導を行っています。

# 2003

## 将来に向けた取組み

JASICは、1987年の創立から20年間、様々な形で日本とアジアの自動車の基準認証制度の国際化、国連での自動車基準の作成に貢献してきました。今年、JASICが創立20周年を迎えるにあたり、将来の自動車社会のより一層の充実に向けた長期的な課題として、車両認証の国際化のための基盤整備に取組むこととしました。これは、これまでのUN/ECE規則に基づく自動車部品や装置に関する相互承認制度を、車両全体を対象にするものに範囲を広げるもので、実現すれば最新技術をもった自動車の普及や、国際的な自動車流通の発展に大いに役立つものと期待されています。

### 国際車両認証制度

#### UN/ECE 認証



- ・安全ガラス
- ・速度計
- ・ブレーキ
- ・後写鏡
- ・シート
- ・タイヤ
- ・方向指示器
- ・前面衝突時の乗員保護
- ・前照灯
- ・安全ベルト
- ・その他

#### 車両認証



#### 車両認証の相互承認を実現





自動車基準認証国際化研究センター